



koseikai

# SHIGI

編集発行人／医療法人厚生会 奈良厚生会病院  
〒639-1039 奈良県大和郡山市椎木町769-3 TEL.0743-56-5678  
奈良厚生会病院ウェブサイト URL <http://www.nara-koseikai.or.jp>

平成21年9月

私は平成二年に奈良県立医科大学を卒業、第二内科に入局しました。当時教授は成田名誉院長、指導医は竹内内科部長、善本副院長は同期でした。お世話になった先生方と

初めましては、平成六年から七年にかけて一年間だけですが勤務の経験があります。今回再びご縁があり参りましたが、見覚えのある職員の方々に安心感を、初めて接する職員の皆様には新鮮さを感じて仕事を開始することができました。

ごんには。既に私にお気づきの職員も増えたことと思いますが、昨年九月より勤務させて頂いてあります。今更ですが、よろしくお願い申し上げます。



ごあいさつ  
医局長 石井良子

本年一月より縁あってお世話になっております。



ごあいさつ  
整形外科 西田芳寛



の再会も嬉しく、再びご指導頂ける機会を大切にしたいと思っております。  
第二内科で研修後の平成四年よりほとんどの期間を、県内の市立病院で一般内科医として臨床中心に過ごしてまいりました。そこで得られた経験と、今後の努力で厚生会病院の診療のお役に立てればと願っております。皆様のきびしいご指導をよろしくお願ひ申し上げます。



私は平成五年近畿大学を卒業後、救急医療、整形外科を中心に勉強してまいりました。今後今までの経験を活かしながら患者様、ご家族様のおやぐにたてるよう精進してまいりますので、よろしくお願ひいたします。  
**趣味** 格闘技（特にボクシング）来年試合にでますので応援して頂ければ幸いです。  
スノーボード（全国大会出場経験あり）ただし骨折経験のほうが多い。  
趣味を通じて、人の痛みがわかる医者を目指しております。  
皆様と一緒に病気・怪我と闘い乗り越えていきます。がんばりましょう。

### ◆ 奈良厚生会病院 理念

- 1、医療の主役は患者さんである。
  - 2、患者さんの心身ともに癒す医療を行う。
  - 3、病気の予防、治療、ケアを一体とした医療を行う。
- 以上の三つの理念をもって保健と福祉と連携し  
地域医療に貢献する。

### ◆ 行動指針

- 1、患者さんには常に笑顔で接し、励ましの言葉をかけよう。
- 2、常に周到な注意力と、旺盛な責任感を持って行動しよう。
- 3、常に感謝の心を持ち、相互の信頼と協調による人の和を大切にしよう。
- 4、互いに切磋琢磨して、規律と厳しさのある職場にしよう。
- 5、医療従事者たる事に誇りを持ち、生涯研修と高いプロ意識をもって最善を尽くそう。

### ◆ 奈良厚生会病院 患者の権利章典

私たちは、科学的で安全性の高い医療と福祉を、患者と医療従事者の『共同の営み』として継続・発展させていくために『患者の権利章典』を定めます。

#### ◆ 患者の権利と責務

- 1、良質な医療・看護・介護を公平に受ける権利
- 2、人格を尊重され、相互協力関係のもとでサービスを受ける権利
- 3、診療に関して十分な説明、情報を受け、自分の意志で選択する権利
- 4、プライバシーを保護される権利
- 5、患者自身の健康に関する情報を提供する責務
- 6、医療・介護上、理解できないことについて質問する責務
- 7、他の患者の治療や介護及び病院職員の医療・介護提供に支障を与えないよう配慮する責務

# 第11回 夏まつり



8月27日夏祭りを開催しました。

早いもので、今年で11回目となります。夏祭りですが、年々盛り上がりを見せ、すっかり定着いたしました。  
当日は、天候にも恵まれ、比較的過ごしやすいお祭り日和となり、女性事務員は朝から浴衣姿を披露し、「いつもと雰囲気が変わっていいもんだね」と好評でした。昨年のプログラムに加えて、飛び入りの参加もあり、日常と違う職員の姿を垣間見ることもでき充実した内容となりました。患者さんや、地域の皆様、保育所のかわいい子供たちにも参加していただき、職員も楽しんだ様子をこぼしてください。



## パイオニア

昨春から娘と始めたパイオリンを飛び入りで弾かせていただきました。橋の上で演奏というシチュエーションの中、娘とは違い、親の方がすっかり足を引っ張ってしまいました。貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございます。 薬局 谷口



## ロックマン

毎年恒例のロックマン。今年は総勢22人で行いました。本番は少しズレた部分がありましたが、そこはご愛嬌。心は一つに踊りきり、盛大な拍手を頂きました。



## 盆踊り

夏祭りのメインの出し物となっている盆踊りです。一部、二部に分けて、炭坑節、河内音頭、阿波踊りで盛り上がりしました。車いすでの踊りの輪に参加された方々、おそろいの法被を着て踊って下さった方々もおられ、客席の手拍子にも力が入りました。



## バラバラ

マネーシヤの畑部でございます。40歳代の二人ですが、ギャルに負けないくらい日々の練習とお肌の手入れに磨きをかけました。どうです。楽しんでいただけましたか？



## フラダンス

夏祭りでは4回目の参加となり、レパートリーも増えました。平均年齢？オの私たち。フラダンスの時だから着られるピンクのドレスいかがでしたか？ 只今、参加者募集中一緒にフラダンスを踊りましょう。



## 保育所

今年は、ダンス「やさしいカンフー」とパルティン体操「ひよっこりひよっかん」です。皆様の熱い眼差しと、手拍子を受け、元気いっぱい一番上手に踊りました。



## 接遇委員会より

委員長 村上智美

今回、当院に入院されている方々・来院される方々からご意見を伺いし、より良い病院運営の参考にさせていただくために、平成21年2月中旬から3月末の期間にアンケート調査を実施させていただきました。多くのご意見・ご協力をいただき、本当にありがとうございます。今回の結果を患者様に対するサービスなどの充実を図るために真摯に受け止めていきたいと考えております。尚、アンケート結果に関しましては、SIGNの掲載と本館・新館の入り口掲示板に掲示させていただいております。

今回はアンケートにご協力いただき、本当にありがとうございます。今後、皆様のご意見を参考に全スタッフでより皆様に信頼していただける病院を目指していきたいと考えております。また、お気づきの点等ございましたら、各スタッフまたは、ご意見箱へよろしくお問い合わせ致します。

## 第17回 日本慢性期医療学会 浜松大会 参加報告



### 苦痛のない排便への取り組み

新館1階病棟

介護福祉士 坂本 克也

高齢者の多くは慢性的な便秘を抱えており緩下剤・坐薬に依存しています。薬剤の使用は、腹痛や不快感等の身体的な負担になる事もあり自然な排便へ少しでも近づけないかと思ひ、食物繊維に排便効果があるということから、嚥下困難でゼリー食を摂取している便秘症の患者様を対象とし、食物繊維入りお茶ゼリーによる排便効果を研究しました。患者様によって個人差

はあるものの、効果を得ることができました。とにかく排便があればいいと安易に薬剤を使用するのではなく便秘の苦痛や薬剤による副作用を考え、個々の患者様にとって安楽な自然排便へ近づけるよう援助してゆくことが大切であると痛感しました。最後に患者様・御家族様・院内のスタッフのご協力・ご指導の上、発表できたことに感謝致します。

### 寝たきり患者への聴覚・視覚・触覚からのアプローチを試みて

新館2階病棟  
看護師 常田 喜久恵

私達が、日頃から接している寝たきりで、発語・体動すらも儘ならない患者様にご家族の協力を得て、視覚・聴覚・触覚を含む、体性感覚(痛み・温度・振動・圧・接触等)を刺激し、身体に触れながら、語りかけたり、ご家族の声で思い出話を語りかけて頂いた録音テープを聞いてもらったり、思い出の写真を見せたりと、段階に応じて機能回復に繋ぐ目的で、本研究に取り組みました。

主治医からは、「反応は、殆ど期待できないであろう。」と言われた方も、平凡な日常生活に刺激が加わり、繰り返し関わること、愛する家族の気持ちや思いが伝わり、ご家族のテープを聞けば、瞬きが増えたり、微笑んだり、口をパクパク動かし、スタッフの思いも伝わる

かのように、目に見えて反応が伺えるようになって行きました。



研究中に亡くなられた方のご家族様からは、「この研究に参加したおかげで、とても満足していく終末期を迎えることが出来た。」という御言葉も頂き、私たちの励みにもなりました。最後に、患者様・ご家族様・院内スタッフのご指導・ご協力の下、全国大会において発表の機会を与えて頂いたことに、深く、感謝いたします。



## 編集後記

### 「介護保険制度の行方」

介護保険制度施行10年「高齢者が月々25000円で好みの介護を権利として受けることができ、介護の社会化を図って家庭の主婦の介護からの開放を図る」と当時厚生省が宣伝し発足した制度であるが、現在どうなっているだろうか。老老介護をさせられたり、子供達や主婦の家族介護による負担が重くのしかかり、自殺者がでるほどに制度の崩壊が起こっている。在宅介護になると、家族の誰かが勤めを辞めて介護専任にならなければ要介護者の世話ができない、介護する家族の財源があるうちはどうか介護をしながら生活できるが、それが無くなると家庭が維持できなくなり自殺者や犯罪者が出てくる。

本来介護保険は要介護状態になったとき、高齢社会の中で家族の介護が困難になってきているので、介護保険の力を借りて老後が恙無くすごせるようにと現状に不満ながらも保険料を払っている。ところが、療養病床が再編されるためケアや治療が必要な高齢者の受け皿だった介護療養病床が廃止に追い込まれており、高齢者の行き場が無くなりつつあり、制度の崩壊に至るのではないかと懸念される。これ以上の自殺者や犯罪者をなくすためには国民が真剣に考えなければいけない事態になってくるのではないのでしょうか。